



全国高校野球山形大会

攻守ともに活躍！全員で掴んだ勝利！

唯一の3年次主将とともに

鶴岡中央快勝 1年生が奮闘



〈鶴岡中央―左沢〉6回表
鶴中央無死満塁、5番五十嵐莉玖が走者一掃の適時二塁打を放ち、11―1とする
＝鶴岡市小真木原野球場

▽1回戦
鶴岡市小真木原野球場第2試合
鶴岡中央 000 015 8
左沢 010 000 114

(六回コールド)

(鶴) 菊地海音―五十嵐遼斗
(左) 阿部将太、横山海斗、川越北翔―井上和政
▽三塁打 阿部将太 (左) 二塁打 五十嵐莉玖 2、佐藤朋樹、清原純哉 (鶴)

【評】鶴岡中央が五回表に一挙5得点で勝ち越し、左沢を引き離した。左沢は8残塁

と走者を生かせず、打線のつながりを欠いた。

(小形尚輝)

3年生の主将と 「一日でも長く」

○：コールドで初戦を突破した鶴岡中央。唯一の3年生で主将の五十嵐友綺を慕い、「一日でも長く一緒にプレーしたい」というスタメンの1年生4人の活躍が勝利の原動力となった。

象徴的なのは六回だ。先頭の9番菊地海音が左前打で出塁すると、1番清原純哉も右前打で続いて好機を演出。無

死満塁で5番五十嵐莉玖は「真つすぐに狙いを定め、力いっぱい振り切った」と左中間に走者一掃の適時二塁打を放った。8番五十嵐遼斗も左前に打球を運ぶなど、1年生

たちがチームを勢いづけた。中でも五十嵐莉玖は5月に途中加入。チームの人数不足問題を解消するため、誘いを受けて入部したという。「先輩たちとの野球は楽しい。大会後も部活は続ける」と笑顔で話していた。(根本光輝)

○鶴岡中央・五十嵐友綺(唯一の3年生で主将) 失策なく全員でつかんだ勝利。苦しい場面こそ声を出し、次も元気にプレーしたい。

●左沢・阿部将太(主将で適時打) チームとして残念な結果だったので悔しいが、最後の大会で長打が出たのはうれしい。

渡会監督より

14安打の猛攻で打ち勝った感がありますが、失策がゼロで守備面で健闘が光りました。特に1年生の4人の活躍は見事だったと思います。